

今、何の病気が流行しているか！

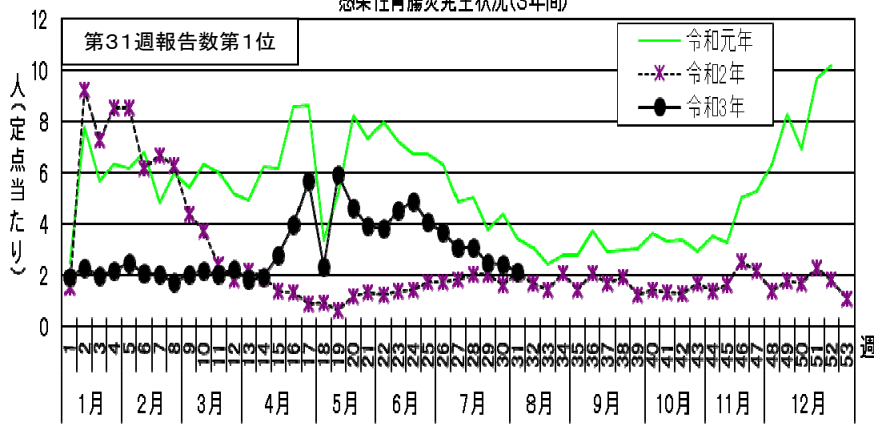
【感染症発生動向調査事業から】

令和3年8月2日（月）～令和3年8月8日（日）〔令和3年第31週〕の感染症発生状況

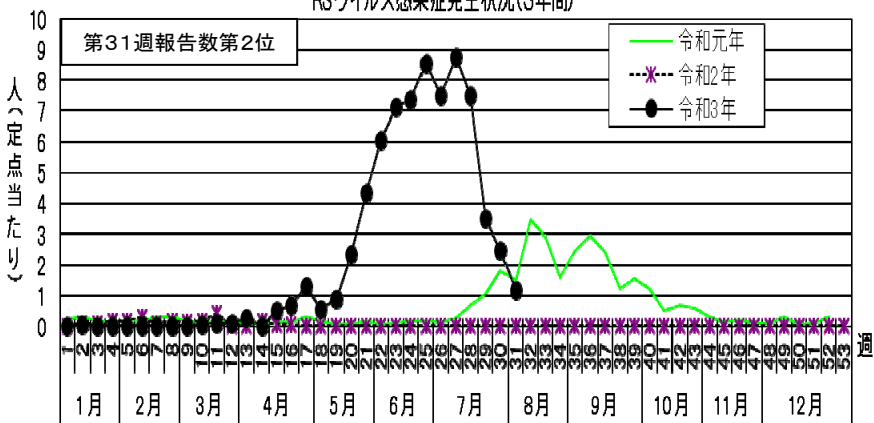
第31週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) RSウイルス感染症 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.09人と前週（2.41人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。
 RSウイルス感染症の定点当たり患者報告数は1.21人と前週（2.49人）から減少し、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.62人と前週（0.49人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



RSウイルス感染症発生状況(3年間)



新型コロナウイルス感染症～飛散防止効果の高いマスクの活用を～

川崎市では、7月下旬から新型コロナウイルス感染症の報告数が急増し、3週連続で過去最多を更新しました。また、首都圏での感染拡大に伴い、令和3年8月2日には神奈川県においても緊急事態宣言が発出されました。

新型コロナウイルス感染症の感染を防ぐためには、マスクの着用、手指衛生、人との距離の確保、換気等の予防対策の徹底が重要です。特にマスクについては、飛散防止効果の高い不織布マスクなどの活用が推奨されています。効果の高いマスクを正しく着用するように心がけてください。

マスクやフェイスシールドの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マスクシールド
		不織布	布	ウレタン		
吐き出し飛沫量	100%	20%	18~34%	50%	80%	90%
吸い込み飛沫量	100%	30%	55~65%	60~70%	小さな飛沫に対しては効果なし	

正しく使おうマスク！



①鼻の形に合わせ ②あご下まで伸ばし顔にすき間をふさぐ **すき間なくフィット**さ

会話時は必ず着用！

- ・鼻出しマスク× あごマスク× **ポイント**
- ・着けたら外側は触らない
- ・ひもを持って着脱
- ・品質の確かな、できれば不織布を

国立大学法人豊橋技術科学大学 Press Release より作成

内閣官房新型コロナウイルス感染症対策HPより